



～キリストの愛の精神にもとづき、こどもたちの未来と地域福祉の向上に努めています～

## 「Children First こども第一」を担う人財育成の取組み

二葉の基本理念“キリストの愛の実践”をめざした「こども第一」の取組みの基盤となるのが「人財」の育成です。法人全体、施設毎に多岐に渡る人財育成の取組みの中から、今号では法人全体の取組みを中心にピックアップして紹介します。

### 人財育成の体制

現在、法人全体で行う研修は事業所横断のメンバーで構成されたバーチャル組織・法人経営運営戦略室（通称：二葉力向上推進室）内「人財育成・組織活性化チーム」が中心となり企画・運営しています。

具体的には、昨年度、求める人材像と育成体系が連動するよう法人全体の研修体系およびキャリアパスを整理した体系図を作成した他、「人財育成NEWS」を発行して、法人としての取組を各事業所・各職員に広く周知しました。また、初めて実施した「ネクストリーダー研修」（常務理事中心に企画、実施はチームによる体制）では、法人外からの参加も募り、児童福祉推進のために内外の人財がともに学びを分かち合い、高め合っていく機会を新設しました。

各事業所では研修担当を中心に、園内研修の企画や外部研修の情報提供等を行っています。オンライン参加が可能な外部研修については在宅での受講も認めるなど、研修受講機会の確保を図っています。



<社会福祉法人二葉保育園 法人全体 キャリアパス・研修体系> (2024.02策定)

新規採用者	職位	一般（新任）	一般（中堅初期）	一般（中堅後期）	一般（ベテラン）	<法人として求める人材像>
入職前に実施	目安年数	0	0	0	0	創立以来の精神から「キリストの愛の精神に基づき、すべての子どもが愛され、心身ともに健やかに育つことを願い、特に困難にある子どもたちが、わけ隔てなく、愛と理解と敬意を持って養育されるために活動します。子どもの個性を大切に、子どもたちがかけがえのない人生を自らの力で獲得できるような養育を目標としています。子どもと家族が、地域社会で健康にその人らしい生活を営むことが出来るよう、ともに考え、ともに活動します。」
【内定者研修】 ① 法人の理念 ② 求められる姿勢 ③ 各事業所の役割 ④ 関係づくり	必要な力・姿勢 (チェックシートより)	・法人、事業所の理念の理解 ・職業倫理の順守 ・職員間で決めたことの順守 ・挨拶や丁寧な言葉遣い ・的確な報連相 ・マニュアルの活用 ・積極的な自己研鑽	・基本理念を取り組みに活かす ・中長期計画の理解 ・後輩職員への良き見本になる ・関係機関との円滑な連携 ・報告力、説明力がある ・課題を発見し、解決策を提案 ・学びを実践に活かす	・法人全体の計画を理解 ・他事業所の取組を実践に活用 ・振り返りの場を持っている ・後輩に対して積極的に助言やアドバイスを行う ・WLBの取れた働きを自ら示す ・新たなニーズの開拓	・国や都、地域福祉の動向等にも目を向け、将来を展望できる ・経験に補われず常に知識・技術をアップデートしている ・目標・期待値を明確に示せる ・専門性を活かし問題提起ができる	① 法人が創立以来大切にしてきた理念を日々の仕事の中で実践できること ② 事業目的を意識し、自己覚知に努め、常に必要な知識を獲得するとともに、組織内外で連携協働して実践できること（意識化・知識化・組織化） ③ 自ら率先して提案し、実践できること（ポトムアップ）
法人全体研修での狙い	能力群項目	新任フォローアップ研修 (1年目対象/秋)	中堅研修（年度ごとに対象をラウンド）*別表	ベテラン職員研修（隔年）		
	意識化	・自己理解と大胆な目標設定	・法人の理念と歴史を学ぶ	・キャリアの棚卸と今後の展望		
	組織化	・同期同士の繋がりや基盤作り	・企画提案力とファシリテーション力の獲得	・アサーショントレーニング		
	知識化					
*事業所内研修等において研鑽						
OJT ・ 各事業所内研修 ・ 分野別処遇改善加算研修 ・ 外部研修(SDS)等						
法人資質向上助成事業（4年目以降利用可）*資格取得等のためのスクーリングや海外研修等費用の半額助成						

2023年（トライアル実施）  
2年目対象ピアスーパービジョン

2023年（トライアル実施）  
ネクストリーダー研修

	リーダー	主任	副施設長	施設長
	1 6年～	2 12年～	3	4
	*作成中		・方針の明確化 ・利用者/職員の権利擁護 ・常に記録を確認し、状況把握 ・「思いやり」を明確に示す ・広域活動への積極的参画 ・厳格さと寛容さを両面持つ	
能力群項目	*リーダー研修（検討中）		拡大管理者研修	
意識化	・理念/歴史のアウトプット（計画反映/プレゼンテーション）			
知識化	・財務分析/管理 ・ 防災/危機管理			
組織化	・コーチング ・ 法人ブランディング			



## 資質向上助成事業

職員が資格取得等を通じ、専門知識・スキルを身につけることをサポートするため、平成26年に創設。入職後3年以上経過したすべての職員を対象に応募を受け付けており、各種研修・講習・資格取得等にかかる費用の最大50%を支給する制度となっており、現在までに25名が助成を受けました。職員からは今後始まる「こども家庭ソーシャルワーカー」の資格取得などにも期待が寄せられています。今号では2名の職員にインタビューを行いました。（インタビューア：法人本部 竹村人財・組織開発ファシリテーター）



**吉野 智子さん〔社会福祉士資格取得〕**（二葉乳児院 地域子育て支援センター二葉 センター長）

Q. きっかけは何だったのですか？

ひろばでホームスタートの仕事をするようになったときに、子育て家庭へのアウトリーチをしてみると、経済的なことや介護の問題も見えてきて保育のことだけでなく色々な分野のことを知らなくてはいけないと感じ社会福祉士の資格を取ろうとおもったことがきっかけです。

Q. 助成を受けてどんなことが良かったですか？

（個人的な資格取得ではなく職場公認での勉強になるので）職場のみんなが応援してくれて、乳児院でも社会福祉士の資格を取っている方が、おすすめのテキストや講座を紹介してくれたりとか。

またいい意味で自分へのプレッシャーにもなりました。

Q. 実際に資格を取ったことでどんなことに活かされていますか？

自分で勉強したという安心感のようなものを持って人と話せるようになったというのがあります。また仕事を続けていく中で「あそこで学んだことをもう一度見直そう！」と、より深く、より幅広い視点からのアプローチができるようになってきている面もあると思います。



**山口 真紀さん〔幼稚園教諭免許取得〕**（二葉南元保育園 保育士 1歳児クラス担当）

Q. きっかけは何だったのですか？

業務の中ではそんなこと全然考えていなかったのですが、幼保一元化の流れの中で、幼稚園教諭の資格も取ったほうがいいと当時の園長に勧められ、それもいいなと思ったのがきっかけです。特例制度で科目免除や実習免除もあったので通信でとりました。

Q. 助成を受けてどんなことが良かったですか？

保育士の勉強をしてからも年月が経っていたので、改めて見直せたかなと思いますし、両方の資格が取れたことで自信にもつながりましたね。

Q. この助成を受けようと考えている職員の方へアドバイスはありますか？

今色々な資格もありますし、やってみたいことがあれば、勤務との調整なども含めて、園長や上司にあたる人にまずは気軽に相談してみるといいかと思います。



## 新入職員の研修



法人の全体研修として、入職前(2月・半日程度)、入職時(4月1日の入職式後オリエンテーションを兼ねて実施)、フォローアップ(秋～冬)を行うとともに、所属先事業所では入職後の1年間を通じた計画的な研修とOJTの組合せによって、新入職員の育成を進めています。

### 入職前(内定者)研修

理事長・常務理事の講話に続き、乳児院、児童養護施設、保育所の施設長による職場説明、一部オンライン参加者も含むワークショップによる交流を行っています。

理事長からは、女性が非常に多い職場であることから、「女性の健康」を中心とする講話と、3月の「女

性の健康週間」に実施されるセミナー等の聴講・レポート作成を事前課題として示しています。常務理事からは、二葉の歴史と創設以来の理念、望まれる職員像や事前学習教材などを中心に長年の現場実践に裏打ちされた講話を行っています。

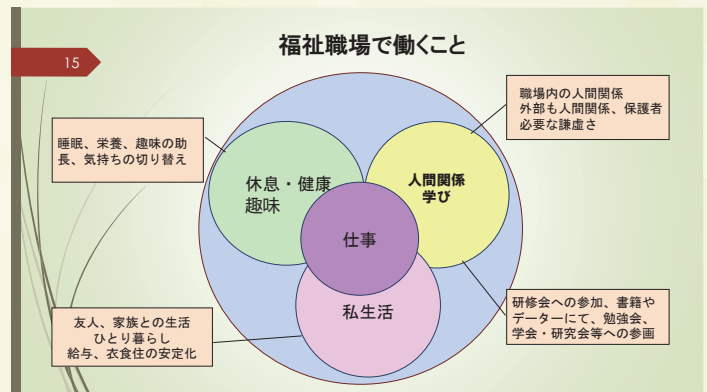
子ども達の最善の利益の実現をめざしてチャレンジし続ける力

目の前の子ども  
(入所児童・利用児童)  
+  
地域の子ども  
社会の子ども



子どもを支えるキーパーソンとしての親を支えることで子ども達を守る

学ぶ・学び合う  
+  
繋がる・繋がり合う  
+  
諦めない・信じる



### 事前課題「女性の健康について学んだこと」のレポートより抜粋



「今回、月経の仕組み、自身の月経時、月経前の症状、普段の生活について振り返ることができました。食生活や運動、ストレス面などにおいて見直すことで、月経時の症状が軽くなることもあったと学びました。毎月の月経の辛い時間が少しでも減るように意識して日々の生活をおくっていきたい。」(新卒・女性)

「今後は、仕事をしていく中でPMSの期間に子どもの対応をすることもあるため、PMSの症状を軽減することのできる生活習慣の改善等を行うことで子どもや仕事とうまく付き合うことができるようにしたい。」(新卒・女性)

「PMSに限らず月経時の体調についてもそのまま放置していたが、子宮内膜症や子宮筋腫などの疾患になっている恐れや不妊に繋がる要因でもあるため早期発見や自分の将来のためにもそのままにせず病院に行き改善につなげるべきだと感じた。」(既卒・女性)

「間違った認識をしている部分や、知らない部分があったということに気がついた。子どもとホームで係る際には職員間で相談をしながら真剣に子どもの年齢にあった性教育をしていきたいと考えた。」(新卒・女性)

「今回学んだ内容は子ども達と関わっていく中で非常に大切な知識だということが分かりました。担当するグループホームは全員女児なため、男性職員である私も、身体構造であったり、症状については理解していかなければならないと改めて感じました。」(新卒・男性)



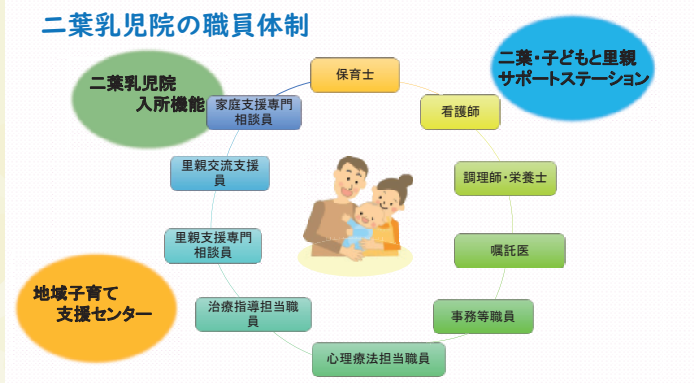
## 入職時研修

近年、企業からの転職者も多くなっていることから、「社会福祉法人で働くということ」として、社会福祉法人制度改革はじめ高い公共性故に求められる職員のあり方や施設運営や事業の進め方などを理事長が説明、「子どものために働くということ」として、児童福祉

のために働く意義や今日求められていること等を常務理事が説明しています。

その後、各施設長からの新入職員へのメッセージ、グループワークを行っています。

### 二葉乳児院の職員体制



## 事業所での人財育成の取組み I



### 保育園合同研修(二葉南元保育園・二葉くすのき保育園)

法人内の二園ともに通信環境整備が進んだことから、ウェブ活用によって、本年3月土曜日午後に初めての合同研修「これからの保育を巡る展望と園づくりを考える」を実施することができました。

井上理事長による保育を巡る最新情報の説明の後、福井で幼稚園の認定こども園移行を手がけられ園長を務められた浦上充評議員(東中野教会牧師)に「これからの保育と園づくりを考える -キリスト教の視点から-」をテーマにお話し頂きました。二葉の歴史を辿りつつ、福音書に言及されながら、(制度の狭間に)本当に助けを必要としているこども(家庭)が存在することを見つめ法人内で連携していくこと、「私にはできないが何とかならないか」との思いのシェア、「小さなきっかけ(相談・問い合わせ)からすべてが動くこと」を大切にしてほしい、併せて「自分の人生、存在を輝かせて欲しい」「一人一人の個性(キャラクター)が園を形づくっていく」とのお話に皆、大変感銘を受けました。

両園の意見交換後、オンラインでの発表では、二葉の保育の原点や歴史を学びなおすことができた、自分を活かしていきいき保育することが大切と気付かされたなどの感想が寄せられました。

この合同研修は、今年度、両園での相互体験交流研

修が行われるきっかけになるなど、より発展的な成果にも結び付いています。

#### II. 保育者自身の人生も輝くということ

聖書 マタイによる福音書 22章34節-40節

<sup>34</sup> フアリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を言い込められたと聞いて、一緒に集まった。<sup>35</sup> そのうちの一人、律法の専門家か、イエスを試そうとして尋ねた。<sup>36</sup> 「先生、律法の中で、どの戒めが最も重要でしょうか。」<sup>37</sup> イエスは言われた。「『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』<sup>38</sup> これが最も重要な第一の戒めである。<sup>39</sup> 第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』<sup>40</sup> この二つの戒めに、律法全体と預言者たちが、かかっているのだ。」 (『聖書 聖書協会共同訳』2018年)

- フアリサイ派(法律、宗教の専門家)がイエスに質問をした  
→ どの律法(法律・宗教的な戒め)が最も重要でしょうか?
- イエスの答え  
→ 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。  
→ 隣人を自分のように愛しなさい
- まず大切なのは「自分」。  
→ 自分を愛せない者は、人を愛することが難しい。  
→ しかし、「自分を愛する」とは、「自分を甘やかす」ということではない。  
自分成し遂げたい事柄を、成し遂げていく(実現する)ということ。  
→ そのためには、人を助ける力を身に付けなければならない。
- 保育士として見ていくのであれば、  
→ いわゆる、「減私奉公」ではない。  
自分を愛し、やりたいことに精一杯取り組み、自分の存在を輝かせることを通して、隣人(こども、家庭)に、その愛を注いでいくということ。



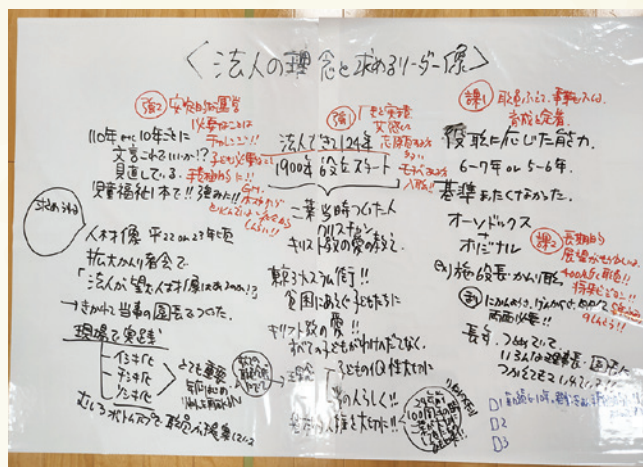


## 管理監督者(拡大管理者会)研修



各事業所の施設長・副施設長と主任の合同研修として、「サーヴァント・リーダーシップに必要なファシリテーション力」をテーマに、(株)ひとまちのちよんせいこ氏による、ホワイトボード・ミーティング®を活用したサーヴァント・リーダーシップの具体的な進め方を体験しました。

サーヴァント・リーダーシップとは「奉仕するリーダーシップ」。〇〇すべきと指示するのではなく、部下の意見を傾聴、その上で方針を示し、自ら奉仕しながら導くリーダーシップです。



参加した管理職・主任からは「以前にスーパービジョンの研修で学んだ、相手の思考を引き出し、具体的な取り組みや行動計画は本人が決める、ということにつながる内容でした」「このリーダーシップが身に付けば、自ら考える職員が育成できるのではないかと思った」という感想がありました。

活況を呈した研修は、我が国の女性のサーヴァント・リーダーの先駆けとも言える野口幽香先生に続く者として、研修の学びを活かしていかれることを望むとの理事長挨拶で終了しました。



## 中堅職員研修

法人内5～6年目の中堅職員研修として「中堅職員に必要な企画提案力+ファシリテーション力」をテーマに、ホワイトボード・ミーティング®のファシリテーターの練習を通して、職場課題について話し合う参加型の研修を実施しました。多様な意見を出しながら話し合い、最終的にホワイトボードに意見が可視化されて残るので、議論の記録になる有用性を実感しました。研修で話し合われた課題は、有給休暇の取り方や超過勤務の削減など多岐にわたりましたが、受講者同志が「どうすれば解決できるのか」を前向きに話し合う様子が印象的でした。

今回は、会議であまり意見が出ない、発言する人が限られてしまうなどの職場の悩みに応える実践的研修を行いました。今後も職場ニーズに対応した研修を企

画・実施していく予定です。







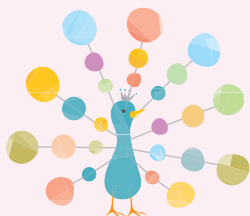
## 事業所での人財育成の取組みⅡ



### 二葉学園 – 「つながりパートナー」(通称：つなバ)

先輩後輩が新入職員とペアを組み、1年間「働き方」について話をする機会です。新入職員の働く上での課題・問題への対処、孤立感への対応、他ホーム職員とのつながりの保障の意味合いです。学園が地域分散型、ホーム長制の形態であることから、育成という点においてホーム内で完結しがちで新任職員は他職員との繋がりが浅く、悩みや疑問を持って発信しづらいことが考えられます。もちろんホーム内での円滑なやり取りが大切ですが、同時に担当ホーム外の職員にも気軽に相談できる職員集団を望んでいます。毎年5月頃から開始して最初3か月は月1回で、30分から1時間

位。そのペアの状況に応じて行います。先輩職員側もお互いに声をかけあって進め方を相談したり、雑談だけの時間を持つ方もいます。2年目以降も自主的に繋がる人も



みられ、この時間が楽しみだという声もあります。先輩と話をする機会が保障されている安心感があり、それが仕事をしていく上で支えになっていると感じている職員もいます。



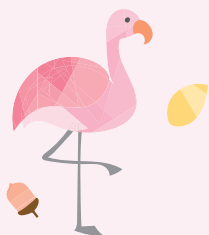
### 二葉むさしが丘学園 – 各寮(チーム)での宿泊研修

コロナ禍で顔を合わせた職員間のコミュニケーションが希薄になりつつある状況を経て、2022年度より、施設から離れた場で話し合う時間を確保してチーム内での議論を深めること、職員間の懇親を深め、チーム力を高めることを目的として担当ホームごとのメンバーに分かれて、職員のための宿泊研修を開始しています。

研修プログラムに関しては、各ホームで組み立てており、施設長や副施設長からの宿題は必須となっていますが、それ以外の時間については観光やアクティビティを行うなどチームごとの計画に沿った相互理解を大事にした内容となっています。

実施後の感想として、普段よりも職員同士がリラックスした状態で対話を行うことができたため、個人の

悩みなど通常の勤務内では時間の制約もあり相談しきれないことを本音でやりとりができたり、お互いのチーム内での役割を再認識するきっかけに繋がっているとの声がありました。





# 2023年度 寄付金受領感謝報告

2023年4月1日から2024年3月31日までに受領いたしました寄付金について、感謝をもって報告いたします。また、紙おむつ、ベビー服、絵本・玩具、食料・飲料など物品寄付も多数頂いており、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

**寄付金総額 31,302,130円**

\*二葉学園元職員・故大橋重正氏からの2千万円の遺贈を含みます

## ご寄付をお寄せくださった皆様(敬称略)

愛知 芙美子	大竹 智	菊田 桂子	鈴木 浩之	ナカムラ ユキオ	馬見塚 統子
秋山 高宏	太田 清子	菊地 邦夫	菅原 友香	中山 正雄	宮沢 成実
秋元 利規	大野 恵子	清田 研	関 幸子	中原 聖生	宮田 康成
秋山 美枝子	大橋 しのぶ	久保田 潤	五月女 友美子	繩倉 尚子	宮本 浩子
秋山 美紀	大山 美和子	向當 君枝	外山 万由美	西島 千佳	水野 幸枝
浅尾 邦子	小倉 嗣子	小早川 淳子	高浦 勝寿	西村 文子	武藤 素明
熱田 日出丸	奥野 宣子	小林 明信	高木 雄太	根本 葉	村上 清美
阿部 陽子	奥山 明彦	小林 尊生	高橋 和代	橋本 康彦	冥賀 令
荒井 和也	尾崎 百合子	齋藤 ミヨシ	高橋 清一	八幡 則子	芽根 雅史
荒井 嘉江	押切 重洋	榊原 恵理香	竹内 よし子	原田 貴秀	元橋 三千代
飯島 祥二	小野 雄一郎	佐野 直人	武田 拓也	原田 裕子	百々 典子
伊藤 陽子	掛川 亜季	佐藤 政雄	多田 一江	林 千尋	柳 俊一郎
稲垣 純一	加藤 貴行	佐藤 ヤス子	谷中 信一	林 真希子	山岸 寿里
今井 暁史	金子 恵美	四ヶ所 大亮	田村 幸子	福田 裕代	山口 顕治
井本 剛司	亀田 卓由	塩谷 公平	丹井 逸子	福田 敏朗	山崎 まさ美
入江 麻理子	上石原 樹子	渋谷 利宏	丹澤 美智子	古田 徹	山崎 美貴子
岩本 和雄	河内 ともみ	潮谷 佳男	柘植 太郎	藤源 誠	山田 琢史
岩本 隆子	粉川 貴司	潮谷 義子	都留 和光	舟久保 由紀子	山本 利彦
上野 まり子	北浦 一司	志賀 勝子	徳永 冴果	外村 信太郎	吉澤 貞雄
鵜沢 誠	片倉 昭子	清水 真一	永瀬 安恒	牧 甫	吉田 恒雄
遠藤 久江	片倉 裕司	清水 裕子	中富 菜摘	牧 操子	甘糟 成美
大久保 加奈子	乾川 日出夫	杉江 栄美子	永幡 紀明	真鍋 美一	吉本 大創
大島 紀子	河津 英彦	鈴木 洋	長澤 康浩	増間 まゆみ	力石 佳子

### SOMA東京

朝日管財㈱  
一般財団法人日本児童養護施設財団  
一般社団法人日本未来支援機構  
イトーヨーカドー労働組合  
学校法人女子学院  
上石原二丁目自治会さくら会  
健全育成推進第三地区委員会  
駒沢女子短期大学  
多摩プロゴルフ会(会長 西川健一)  
調布狛江地区更生保護女性会

### 調布市立第一小学校

日本キリスト教団東中野教会  
教会員有志  
ヒカリ薬局 信濃町店  
もりた眼科小児科  
焼鳥とりふく糸川  
有限会社柴田商店  
株式会社フローリッシュ  
株澁谷不動産エージェント  
玉川学園  
国際ソロプチミスト東京弥生

### 四谷地区民生児童委員協議会

小平市更生保護女性会  
信濃町教会教会学校(中川真明)  
千代田区ボランティア団体ぞろぞろ会  
池田輝子記念福祉財団(理事長 池田町子)  
二葉くすのき保育園父母の会  
白梅短大小松セミナー  
白百合学園小百合会  
(有)マツモト代表取締役松本弘樹

いただいた寄付金は、施設で生活するこどもたちの習い事やスポーツ等体験の充実、若者・退所者への生活サポートや資格取得のための支援、老朽化したの遊具の新調等に活用をさせていただきました。

物品寄附を下された方、寄付者名非公表を御希望の方、銀行振込による寄付者の方(個人情報保護上、連絡先の提供を受けられないので寄付者名公表の可否確認不能のため)については掲載しておりません。万が一、当方の手違いで記載されていない方がありましたら次号にて訂正させていただきますのでお手数ですが御一報ください。



# 「二葉支援の会」への寄付のお願い

二葉保育園では、「二葉支援の会」が中心となって、法人内の各施設の事業や組織運営を支えていく活動をしています。ご寄付は、年一口5,000円以上をお願いしておりますが、金額は問わず、一人でも多くの方にご支援を頂きたいと思っております。ご入会・ご支援頂ける方はぜひ当法人本部までご連絡ください。

★当法人へのご寄付は社会福祉事業への寄付として確定申告をして頂くと税制上の優遇措置(寄付金の税額控除)が受けられます。詳しくは当法人本部までお問い合わせ下さい。

## 「二葉支援の会」お問い合わせ

## 社会福祉法人二葉保育園 法人本部

電話 **03-3341-1205**(平日10時~17時)

E-mail **info@futaba-yuka.or.jp**

### 郵便振替

□座番号：00120-2-30321  
□座名義：社会福祉法人二葉保育園

### 銀行振込

三菱UFJ銀行 支店名：四谷支店  
□座番号：普通0506208  
□座名義：(福祉)二葉保育園 理事長 井上従子

ご住所を入力する欄がないため、税額控除証明書をお送りできない場合がございます。銀行口座へお振込みの際は、お手数ですが法人本部へご住所をお知らせください。

### クレジットカード

社会福祉法人二葉保育園ホームページの「寄付のお願い」ページからお手続き頂けます。



この度、Syncable(シンカブル)のクレジットカード等寄付システムに変更しました。こちらのQRコードをご活用ください。マンスリーサポーターも募集中!



## 社会福祉法人 二葉保育園 概要

### 法人本部

所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地  
設立：1900年(明治33年)  
理事長：井上 従子  
常務理事：武藤 素明  
理事：河津 英彦、押切 重洋、福田 敏朗、都留 和光、森本 裕美  
評議員：宮沢 成実、磯谷 文明、潮谷 恵美、園 武友、関原 陽子、貫名 通生、浦上 充、竹内 よし子、橋本 ゆかり  
監事：馬場 充、金子 恵美  
職員：4名

### 二葉乳児院・地域子育て支援センター二葉

院長：都留 和光 副院長：長田 淳子  
児童定員：40名 職員：130名  
所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

### 二葉学園

統括園長：武藤 素明 園長：小倉 要  
児童定員：58名(グループホーム8ヶ所を含む)  
職員：100名  
所在地：本園 〒182-0035  
東京都調布市上石原2-17-7

### 二葉南元保育園

園長：橋爪 主税  
児童定員：110名 専用型一時保育：10名 職員：43名  
所在地：本園 〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

### 二葉くすのき保育園

園長：森本 裕美  
児童定員：97名 職員：42名  
所在地：〒182-0022  
東京都調布市国領町3-8-15 都営くすのきアパート1号棟

### 二葉むさしが丘学園

園長：菅原 淳史 副園長：渡辺 剛史  
児童定員 本園：54名(一時保護6名を含む) } 職員：82名  
グループホーム：24名  
ファミリーホーム：6名  
所在地：本園 〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-62-1

### 自立援助ホーム トリノス

ホーム長：相原 信一  
児童定員(男子)：6名 職員：5名  
所在地：東京都日野市  
(成人を含む利用者の住所地となっているため非公開)

二葉とこども37号 2024年 9月30日発行 編集・発行 社会福祉法人 二葉保育園「二葉支援の会」

〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地 TEL：03-3341-1205 法人本部事務局 <https://www.futaba-yuka.or.jp>

